

2-6 1987年3月24日新潟県沖の地震

The Earthquake off Niigata Prefecture, March 24, 1987

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

3月24日21時49分、新潟県沖にM5.9（深さ21km）の地震が発生し、関東地方のほぼ全域と東北・中部地方の一部で有感となった。各地の震度は第1図のとおりで、最大震度はIV（輪島・高田）であった。なお、この地震（本震）の1分前の21時48分にM4.5（深さ7km）の前震があり、輪島で震度I（最大）を観測している。余震は4月下旬前半まで続いて収まった。震源決定された地震は前震・本震・余震を含め40個程度で深さは20km前後が多い。第2図に今回の地震の震央分布を示す。Aが今回のもので、B～Eは本年1月1日～4月29日まで発生した周辺部の目をひく活動である。

第3図は、1926年1月～1986年12月までの同海域とその周辺部における地震活動図である（図中の★印は今回のM5.9の地震）。

①には震央分布、②には時空間分布、③にはM～T図を示した。ただし、②と③は①の点線部分（長方形）についてのものである。

図を上段・(a)と下段・(b)に分割掲示したのは、それぞれの領域（海側と陸側の各点線で囲まれた部分）における活動のパターンを対比参照し、対応関係を把握するためである。あまり明確ではないが、これら2領域の間には、1950年前後、1965年前後及び最近両地域とも目立った活動がみられるなど、相互関係が存在する気配がうかがえる。

今回の地震についての有感地震の表を示せば次のとおりで、有感となった地震は4個である。

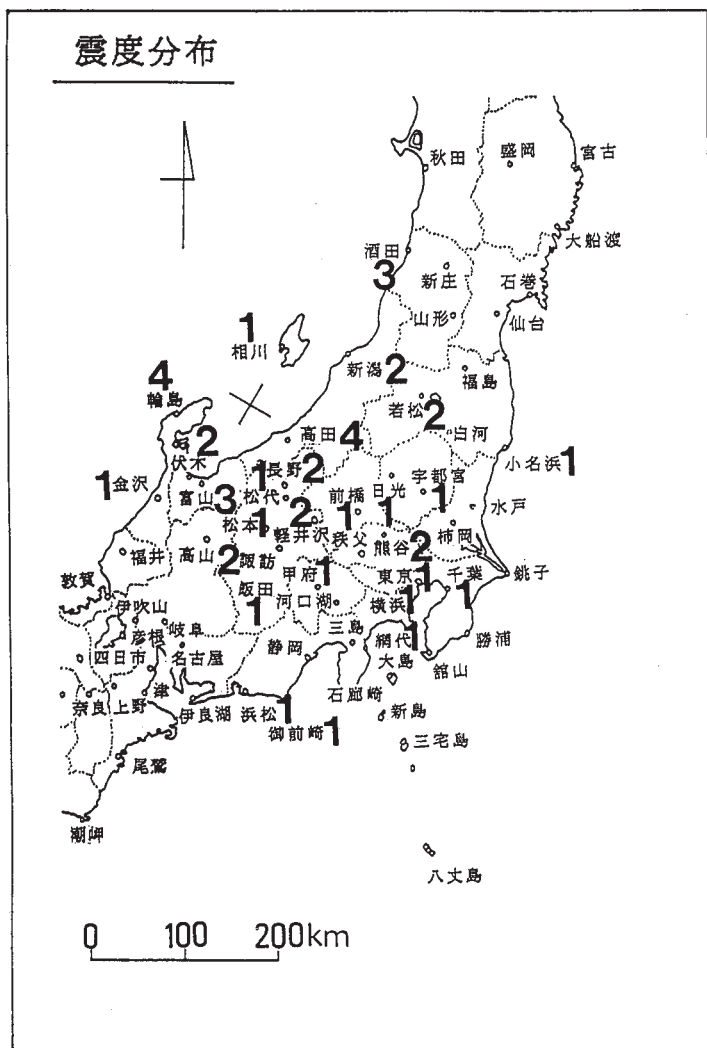
有感地震の表

1987年3月

24日21時48分	新潟県沖	I：輪島
21時49分	新潟県沖	IV：高田，輪島 III：酒田，富山 II：長野，若松，新潟，熊谷，諏訪，軽井沢，伏木 I：千葉，相川，小名浜，金沢，宇都宮，松本，横浜，前橋 御前崎，浜松，甲府，東京，飯田，網代，日光，松代
22時22分	新潟県沖	II：高田 I：新潟，輪島
25日09時39分	新潟県沖	II：高田，輪島 I：富山，相川，新潟

（気象官署で有感となった地震）

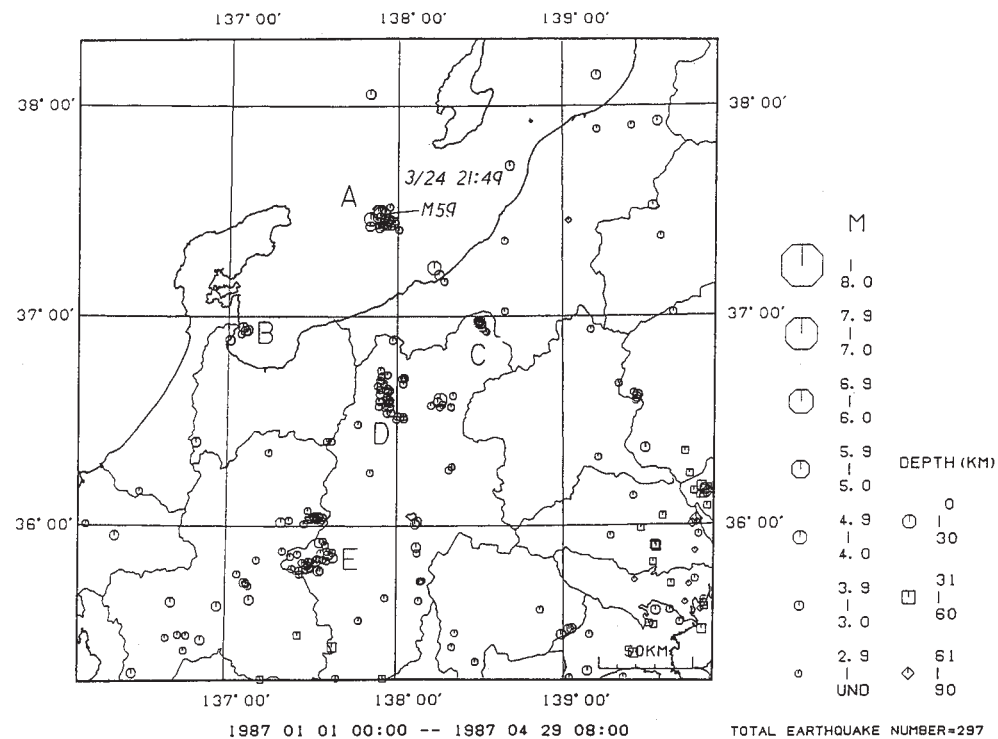
注：本稿に使用した地震のM・深さは暫定。



× : 1987年3月24日 21時49分

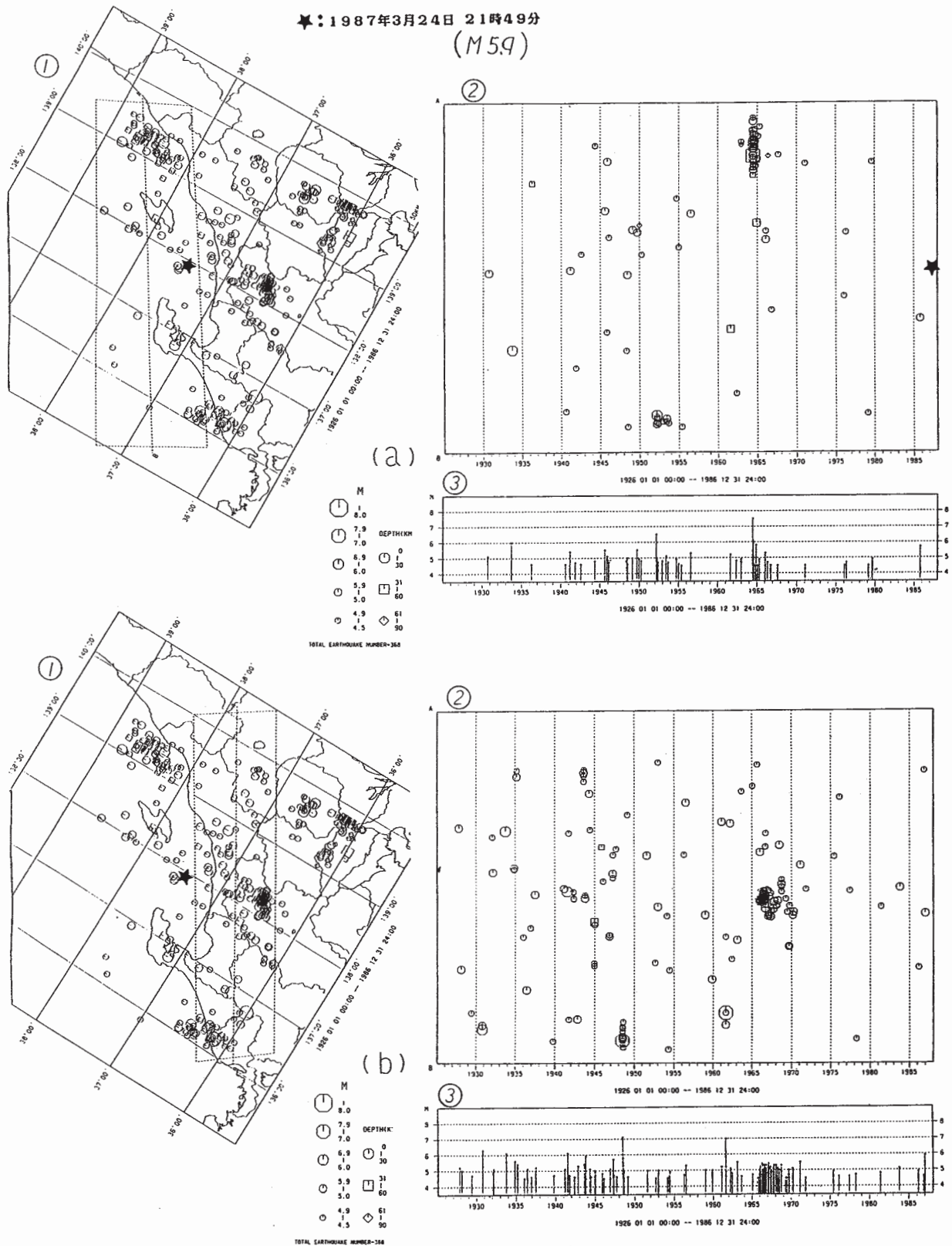
第1図 1987年3月24日の新潟県沖の地震 (M5.9) の震度分布

Fig. 1 Distribution of seismic intensities for the earthquake off Niigata Pref., Mar. 24, 1987.



第2図 新潟県沖の地震の震央分布 (A: 1987年3月24日 ~ 4月23日)

Fig. 2 Epicentral distribution for the earthquake off Niigata Pref. (A: Mar. 24 - April 23, 1987).



第3図 新潟県沖の地震活動 (1926年1月～1986年12月)
 ①: 震央分布 (点線内の部分の活動を②と③に示す),
 ②: 時空間分布, ③: M - T図。

Fig. 3 Seismic activities in the two regions off and coast are shown in (a) and (b) respectively. Niigata Pref., Jan., 1926 - Dec., 1986.
 ① Epicentral distribution (Seismic activity for the part in dotted lines are shown in ② and ③),
 ② Space-time plots, ③ M-T diagram.